



図書だよい

11月発行 第6号
かほく市立高松中学校図書館



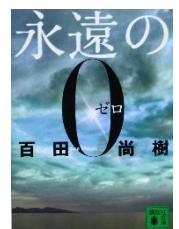
「ビブリオバトル石川県大会2023」に、増田さんが出場



小松市で毎年開かれている「ビブリオバトル石川県大会」。今年初めて、かほく市から高中の増田朋香さん（3-1）が参加しました。「ビブリオバトル」とは本の紹介ゲームの1つで、何人が集まって5分で本を紹介しあい、集まった全員で一番読みたくなかった本を決めるというバトルです。

増田さんは約90人ほどの観覧者の前で、「永遠の0（ゼロ）」（百田尚樹/作・講談社文庫）という本を紹介しました。

「何度も読んでも泣ける本」「戦争が背景なのにミステリーとしても上質で最後まで読んでしまう」など話し、聞く人を魅了して、読みたい気持ちにさせていました。文化祭でも披露します。お楽しみに！



「かほく市図書館を使った調べ学習コンクール」



最優秀賞・優秀賞・優良賞・佳作受賞

1年生が毎年夏休みの宿題として取り組んでいる「図書館を使った調べ学習コンクール」。今年度は、沖野成海さん（1-2）の研究『知ろう！やってみよう！手話』が、**最優秀賞**を受賞しました。丁寧に詳しく調べられている、インタビュー・実演の記載がある、手書きの手話の絵を使い上手くまとめてあると評価されました。また井上こころさん（1-2）の『海からのSOS～プラスチックの実態』は**優秀賞**、東紗希さん（1-1）の『漆と石川県』は**優良賞**、沖野愛美さん（1-1）の『油断できない熱中症』は**佳作**に選ばれました。嬉しいですね！おめでとうございます。作品は、現在中央図書館にて、11/5まで展示されています。なお、沖野成海さんの作品は展示後、全国コンクールへ推薦されます。

「読書日記展」中央図書館で展示中！（～11/5）

現在、高中から6名（増田朋香さん（3-1）、諸江華和さん（2-3）、三浦叶愛さん・森美桜さん（1-1）、安江紗梨奈さん・森彩結羽さん（1-3））の「読書日記」（1ページコピー）が、中央図書館で展示されています。みな本選びが上手で、感想の書き方がとても丁寧です。思いを素直に書いてあり好感が持てます。どんな風に「読書日記」を書いたら良いか悩んでいる人は、参考に見てこよう！



『ばんぱいやのパフェ屋さん』

献立メニュー：グラタン



出てくるのはこんな話

虚弱体質だと思っていたら
僕はバンパイやだった?!
オカルトで盛り上がる、居候吸血鬼の夕食の一品。

*グラタンはフランスが発祥地です。オープンで焦げ目をつける香ばしさが魅力の料理です！

11/1
(水)

『三途の川のおらんだ書房』

献立メニュー：プリン



出てくるのはこんな話

不思議な書店を訪れたのは
「でんぐり返る本」を探す女性。店主はなぜか彼女を
デートに連れ出して…?

*プリンはカスタードプリンといって牛乳と卵から作る洋菓子です。かため、やわらかめなどありますが、どちらが好きですか？

『虹いろ図書館のひなとゆん』

献立メニュー：小籠包



出てくるのはこんな話

友達がいなかったひなと、
世界をめぐるゆん。ゆんが
語る、台湾で出会った友人
との思い出の味。

*小籠包は中国の上海の料理です。できてきたは薄い皮をかむと肉
汁がじゅわっと流れ出しますのでやけ
どに注意です！

11/6
(月)

『給食アンサンブル 2』

献立メニュー：みそラーメン



出てくるのはこんな話

バスケ部か、吹奏楽部か。
ひざの不調で悩む慎吾のある日の給食。この給食で慎吾が決めた入部先は。

*みそラーメンといえば、ラーメン発祥の地、北海道が有名ですね。全国各地のみそで作ったご当地みそラーメン食べてみたい！

11/9
(木)

『夜カフェ①』

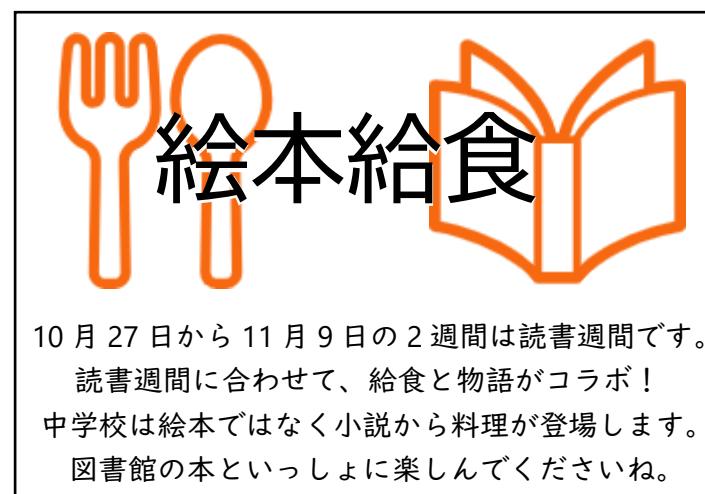
献立メニュー：オムライス



出てくるのはこんな話

家を飛び出したハナビは、
カフェを営む叔母の家へ。
夕食のため、ハナビが初めて一人で料理に挑戦！

*オムライスは日本生まれの洋食です。お米の文化があるのでごはんをオムレツで包んだのが始まりです。



10月27日から11月9日の2週間は読書週間です。
読書週間に合わせて、給食と物語がコラボ！
中学校は絵本ではなく小説から料理が登場します。
図書館の本といっしょに楽しんでくださいね。